

賀川豊彦



献身100年記念 懸賞論文募集!



2009年は、賀川豊彦がスラムで活動を始めた年から100年を迎えます。

賀川豊彦献身100年記念事業実行委員会は、記念事業の一環として、賀川豊彦が創設に関わった諸団体の職員の皆さんから論文を募集することになりました。

いまから100年前、ひとりの若者が貧しい人びとのなかに移り住み、そこで考え、実践したことは、現代に生きる私たちにどのような問いかけをしているのでしょうか。また、その後、賀川豊彦が展開した幅広い活動、そして、その活動を支えた思想は現在どのような意義があるのでしょうか。

「知と実践の巨人」として、日本だけに止まらず、世界にまで大きな影響を与えた賀川豊彦の「思想と実践」に対して、この機会に、私たちもそれぞれの立場から応答していく責任が与えられているのではないのでしょうか。

多くの皆さんがこの論文募集に応じてくださることを心から期待しています。

(賀川豊彦献身100年記念事業実行委員会)

募集要項

1. 全体テーマ 「賀川豊彦の現代的意義」 —平和・人権・共生—

2. 論文応募対象者 全国の賀川豊彦関係諸団体に従事する職員（常勤および非常勤）

3. 論文のジャンル A 研究論文 「賀川豊彦に学ぶ」（4,000字程度）

B エッセイ 「私にとっての賀川豊彦」（4,000字程度）

C 実践報告 「私の職場」（4,000字程度）

4. 賞金および副賞（各ジャンル）

最優秀賞 1名 10万円 副賞：賀川豊彦著書贈呈

優秀賞 2名 5万円 副賞：賀川豊彦著書贈呈

佳作 5名 1万円 副賞：賀川豊彦著書贈呈

5. 論文の掲載 最優秀賞、優秀賞、佳作は、「雲の柱」誌その他に掲載いたします。

6. 表彰 最優秀賞および優秀賞の受賞者を招待して東京にて発表会を行います。

7. 論文の締め切りおよび送付先（お送りいただいた原稿は返却いたしません）

2009年11月末日（厳守）、なるべく電子メールにてお送りください：t-project@kagawa100.com

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢3-8-19 賀川豊彦献身100年記念実行委員会事務局宛

8. 論文審査委員

服部 榮（審査委員長／社会福祉法人雲柱社理事長）、栗本 昭（生協総合研究所理事）、

新澤誠治（元家政大学教授）、田辺健二（鳴門市賀川豊彦記念館館長）、

柳原鐵太郎（学校法人桜美林学園学園長）、加山久夫（賀川豊彦記念・松沢資料館館長）

発表は
2010年3月下旬
受賞者には
直接連絡
いたします

【主催】賀川豊彦献身100年記念事業実行委員会（東京プロジェクト）【お問い合わせ先】TEL03-3302-2855